

インタビュー 家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ
その後、どうしていますか？

我が家のセンターポジションは 小春ちゃん

京都市山科区 一尾様

生まれて間もない頃に野犬で保護された小春ちゃんは、生まれつき目が見えません。愛護センターで小春ちゃんと初めて会った時、ペロッと指先をなめてくれた瞬間に「お母さんは、この子がいい！」と言われたそうです。目が見えないハンデを持つ小春ちゃんを迎えるにあたり、本当に世話ができるか御家族で確認しあったとか。御主人も、二人の息子さんたちも気持ちは一つでした。初めておうちに来た日は怖くて顎



▲センターで出会った頃

を床に着けられず眠れなかったそうです。緊張で一日以上出なかったオシッコが出たときは、みんなで拍手♪
家族の一員になって3箇月と少し。今では夜もグッスリ眠り、普段はほえないのに寝言でワンワンと言うようになりました。テンションが上がると、サークルから出て、リビングでの小春ちゃんのテリトリーの中で走り回ることもあるそうです。「そのときに私たちに激突することもあります。」



▲小春ちゃんは一家のアイドル

と笑っていらっやいました。大好きなお兄ちゃんの、階段を降りてくる足音が聞こえると喜ぶようにもなりました。「毎日少しずつ懐いてくれる小春ちゃんの、小さな変化を見られることが楽しくてしかたがない。小春ちゃんのいない生活は考えられない。」と声をそろえておっしゃる御夫婦。そんな温かい御家族に見守られ、散歩している小春ちゃんの姿を見られる日も遠くない気がしました。(5期 山本)

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～



◀譲渡犬・譲渡猫の
詳しい情報は
こちらから

毎月
第2土曜日
13時～15時

犬の譲渡会 (保護犬見学会)

を開催しています

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。

ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件 (詳細は、センターへ御確認ください。)

- ・京都府域にお住まいの成人で、譲渡希望者自身が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。 など

ぼくたちと
暮らしませんか？

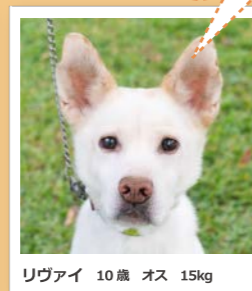
※既に譲渡先が決定している場合があります。



あいり 8歳 メス 5.1kg



ベス 推定3歳前後 メス 12kg



リヴァイ 10歳 オス 15kg



サブちゃん 推定1～2歳 オス 10.3kg



アロー 推定4～6歳 メス 25kg

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
 - 京都市営地下鉄丸太線 十条駅から徒歩15分
 - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩5分
- ※無料駐車場はございません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
TEL: 075-671-0336
FAX: 075-671-0338
開所時間: 午前9時～午後5時
休所日: 木曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始

Facebook → <https://www.facebook.com/anilove.kyoto/>
Twitter → <https://twitter.com/kyotoanilove>



京都動物愛護センターマスコットキャラクター LINEスタンプ第2弾発売中



本紙は「京都市動物愛護事業推進基金(人と動物が共生できるまちづくり基金)」からも出資しています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者はホームページに公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページで御覧いただけます。

→ <http://kyoto-ani-love.com/>

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。

京都動物愛護センター機関紙



令和元年度 冬号

愛ランド通信

—人と動物の共生を目指して—

LINE
スタンプ
第2弾
発売中

特集 収容頭数の現状

動物お悩み相談室
うちの子、肥満でしょうか？

ペットのためのマナー&ルール
飼い主の心得
～ペットを飼う前に～

ボランティア犬猫数珠つなぎ
～一緒に歩む大切な家族～
甘えん坊のお嬢さま、今でも
かけがえのない存在です

インタビュー 家族に迎えて
我が家のセンターポジションは 小春ちゃん



モデル: マックス 推定3～4歳 オス(去勢済)

特集 収容頭数の現状



犬・猫がセンターに収容される経緯は、飼い主不明の保護や、飼い主による飼育放棄があります。犬は、成犬の保護が多く、猫は、野良猫が産み落とした子猫の保護が多い状況です。

様々な施策や取組みで減少

平成25年の「動物愛護管理法」の改正によって、飼い主はその動物が命を終えるまで適切に飼養する「終生飼養」の責任があることが明確になり、安易な飼育放棄が減少しました。また、京都市では、平成27年には京都府・京都市が共同設置・運営する当センターがオープンし、京都市における「京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例」が施行されるなど、様々な施策や活動で動物愛護の意識が高まり、収容頭数の減少とともに、殺処分頭数も大きく減少しました。

犬 195頭、猫 1,046頭

上記は、平成30年度のセンターに収容した犬と猫の頭数です。毎

年減少の傾向にはありますが、まだまだ多くの犬・猫が収容されています。特に猫の収容頭数は多く、1,000頭を超えています。そのほとんどが生まれたばかりの子猫で健康状態が悪く、センターでは、譲渡できる状態になるまでお世話をする子猫の一時預り在宅ボランティアや、犬や猫のお世話をするセンターのボランティアと一緒に、少しでも多くの命が助かるように努めています。しかし、収容された犬や猫を全て助けられるわけではありません。殺処分をなくすためには、**収容頭数を減らすこと**が最も重要です。

収容頭数を減らすために

野良猫の繁殖を減らすための「まちねご活動」の支援や、犬・猫の譲渡などの直接的なアプローチとともに、動物との接し方やかわり方、命の大切さを伝えるために、未来を担う子供たちに向けた学校への出張講座や、動物を飼っている人やこれから飼おうとしている人等に向けて、センターでは様々な活動を行っています。

普及啓発

●センターイベント

センターの存在や役割、適正飼養や終生飼養の重要性を伝えるために、幅広いターゲットに合わせて、定期的に様々なイベントを開催しています。

飼う前に考えよう（名誉センター長 杉本彩さんの講演会）
センター見学ツアー
飼い方相談会など

伝える

●出張講座

近年動物と触れ合う機会が少ない子供たちに、生命の尊さや動物との接し方、動物の習性などを伝えています。

動物愛護教室
京都府下の小学校低学年を対象

きょうとアニラブラス
京都市内の幼稚園・小中学校を対象

育む

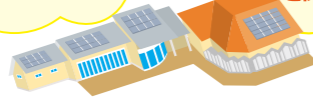
収容頭数を減らすための



センターの活動を紹介します

定期的にイベントを開催しています。ぜひ、センターにお越しください！

毎月第2土曜日 13～15時 犬の譲渡会（保護犬見学会）を開催しています！



京都市内の動物取扱業者（ペットショップ・ペットホテルなど）の規制・監視・指導

見廻る

犬・猫の譲渡

センターでは、譲渡後に問題が起こったときもアフターケアができるように、京都府内にお住いの方に面談のうえ、譲渡しています。

大切な命だからこそ、高い信頼性をもって譲渡し、責任ある対応をしています。

つなぐ

避妊・去勢手術の補助

飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、京都市では、「まちなご活動支援事業」として地域登録し、管理している猫の避妊・去勢手術を無料で実施しています。（城陽市・八幡市では、地域猫の避妊・去勢手術の補助金交付を行っています。 ※詳しくは各自治体にお問い合わせください。）

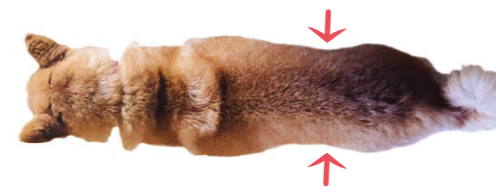
減らす



うちの子、肥満でしょうか？

肥満のめやすはありますか？

犬猫を立たせた状態で上から見て、腰のくびれがはっきりしなかったり、肋骨をさわるのが困難な状態になっていることなどが肥満のめやすです。



▲くびれは少しあるくらいでOK

肥満によるリスクは？

関節障害、糖尿病、心臓病など様々な病気のリスクがあります。また、手術時に多量の麻酔が必要となったり、切開部分が大きくなるなどのリスクもあります。

肥満にならないためにはどうしたらよいですか？

食事の与えすぎ、特におやつでのカロリーオーバーや栄養バランスの崩れに注意が必要です。また、適度な運動を心掛けましょう。

おやつは美味しいからいくらでも欲しくなっちゃう…



肥満かな？と思ったら

犬猫のダイエットは食事の管理が重要ですが、肥満といっても原因はさまざまです。ホルモン異常などの病気が原因となる場合もあります。

また、避妊・去勢手術により、手術前に比べて肥満になりやすくなることもあ

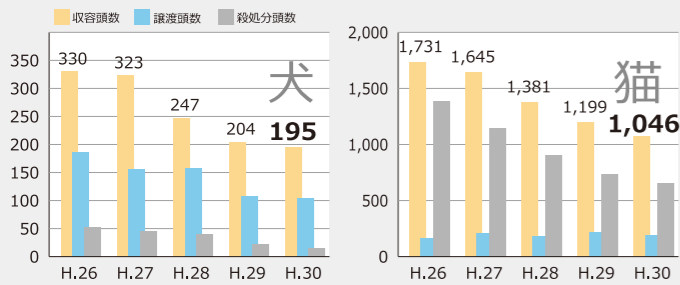
ります。いずれの原因にしても、無理な運動や減量は良くないため、まずは獣医師に適切なアドバイスをもらってからダイエットを始めましょう。

ペットのぼっちゃんりした見た目が愛らしかったり、おやつやごはんを欲しがるとは思いますが、大切なペットの健康管理は飼い主の責任です。肥満にならないように日々の食事や運動を見直すきっかけにしてください。（Koeda）



肥満かな？と思ったら、獣医師に相談を ▲

収容頭数の経年変化



	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30
収容	330	323	247	204	195
譲渡	186	156	158	108	104
殺処分	52	45	41	23	15

	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30
収容	1,731	1,645	1,381	1,199	1,046
譲渡	168	210	187	219	199
殺処分	1,393	1,148	908	742	656

引取（放棄）依頼の理由（平成30年度）

1 飼い主の体調不良・死去

- 2 急な転居
- 3 犬の高齢化
- 4 攻撃的な性格
- 5 その他（治療困難な病気、飼育費用の負担など）

犬

放棄理由は、犬猫ともに**飼い主の体調不良・死去**が最も多く、猫はこれに次いで**計画外の繁殖**となっています。センターの引取りは多くの場合、様々な要因が重なり、飼い続けることができず、やむを得ず行っているものですが、引き継いで飼ってくれる人を探すと、最大限の努力をするように、飼い主への説得を徹底しています。

京都動物愛護センターをはじめ、自治体では、安易な理由でのペットの引取りはできません。ペットを最期まで飼うのは飼い主の責任です！

1 飼い主の体調不良・死去

- 2 計画外の繁殖
- 3 急な転居
- 4 その他（治療困難な病気、飼育費用の負担など）

猫

殺処分をなくすために一人ひとりができること

① 野犬や野良猫に餌を与えない、野外に食べ物（残飯）を放置しない

お腹をすかした野犬や野良猫を見て、「かわいそう」と思う優しい気持ちはとても大切なことです。しかし、野犬や野良猫に餌を与えることで繁殖力が増し、結果的に「かわいそう」な野犬や野良猫を増やしてしまいます。野外でバーベキューやお弁当を食べた後は、餌になるような食べ物（残飯）などを放置せず、必ず持ち帰りましょう。

② 計画外の繁殖を避けるため、避妊・去勢手術を

災害によって家屋が倒壊して逃げ出したり、迷子になってさまよう間に繁殖してしまうことがあります。不幸な子猫や子犬を増やさないためにも、避妊・去勢手術を受けさせましょう。

③ 迷子（行方不明）にさせない

迷子や計画外の繁殖、交通事故や感染症を防ぐためにも、猫の室内飼養を徹底しましょう。犬は狂犬病予防法によって、鑑札と注射済票を装着する義務があります。迷子になった場合もすぐに見つかるよう、迷子札やマイクロチップの装着・登録をしましょう。

④ ペットの命に責任を

飼い主には、飼っている動物がその命を終えるまで適切に飼養する「終生飼養」の責任があります。

かわいいからといって安易に飼うのではなく、10～20年後を見据えて、自分自身の年齢や、健康状態、ライフスタイルの変化を想定したうえで、飼いましょう。自分自身が何らかの理由で飼えなくなる場合に備えて、常日頃から、次に飼い主になってくれる人を探しておくことも大切です。

⑤ 飼う前はよく考えて

よく考えて、「飼わない」と決断することも大切です。飼う準備が整ったときは、ぜひセンターの犬や猫を家族に迎えてください。（Jun）

ペットのためのマナー&ルール

飼い主の心得

～ ペットを飼う前に ～

大好きなペットと暮らすことは、楽しく、心癒されるものですが、飼い主にはそのペットを最期まで飼う義務が生じます。住環境、家族全員の同意、近隣住民に迷惑をかけないための配慮、終生飼養に必要な費用など事前に考えておきましょう。

経済的な理由から飼育が困難になる場合もあります。餌だけでなく、飼育環境の整備、さらに病気の治療代など、思わぬ負担もあります。飼う前によく考えて判断しましょう。（hoku）

うるうる



ずっと一緒にいたいから、飼う前によく考えてね

うるうる



ボランティア犬猫数珠つなぎ

～一緒に歩む大切な家族～

甘えん坊のお嬢さま、今でもかけがえのない存在です

ボランティア4期生 田中淑恵&チャーとらん（♀）

雪の降る日、1匹の子猫を保護しました。親猫と早くに離れたためか、甘がみを知らず、毎日、本気でかまれて腕は傷だらけに。親猫の代わりに半年かけ、私が猫をかんで甘がみを教えました。仕事から帰るとすぐに「かまえー」と鳴き続けます。水が怖いのお風呂場にも入ってくるほどのくっつき虫。ときには、抱っこしながら御飯を食べたり、寝るときはほぼ枕を占領され、冬は布団の中で私の腕枕で眠りについていました。



▲腕に抱かれるのが一番おちつくの♡

16年間の猫生でしたが、今でもまだ私の背中を押し、勇気付けてくれる存在です。チャーとらんに出会わなければ、ボランティアもしていなかったと思います。沢山の出会いを引き寄せてくれてありがとう。（yoshi）



16年間の猫生でしたが、今でもまだ私の背中を押し、勇気付けてくれる存在です。チャーとらんに出会わなければ、ボランティアもしていなかったと思います。沢山の出会いを引き寄せてくれてありがとう。（yoshi）

◀華麗なる寝姿！